

令和7年度【前期】田之筋小学校 学校評価（考察）

経営の重点	番号	経営の目標	対象	肯定率（％）	評定	考 察
目指す学校像について	★	「まごころいっぱい しあわせいっぱい」を意識した教育活動	職 員	100	A 98.7	「まごころいっぱい しあわせいっぱい」という目指す学校像が、学校全体に根付き、定着しつつある。
			児 童	97.7		
			保護者	98.3		
確かな学力の定着・向上と学習習慣の確立	1	分かる授業	職 員	90.0	A 94.6	デジタルとアナログを組み合わせ、「分かる」を実感できる授業を目指している。学習用PCを活用したドリル学習で基礎学力を確実に身に付けさせながら、体験活動や対話を通じて、深く考える力や他者と関わる力を育んでいる。今後も個に応じた指導を目指していく。 読書習慣の定着は、課題である。学校では、目標ページの設定や「よみっこ」による読み聞かせ、選書指導（選書会）などを通して読書を推奨している。今後も家庭と連携し、見守りや声掛け、PTA主導による親子読書などを通して、家庭での習慣化を促していく。
			児 童	98.8		
			保護者	95.0		
	2	学力向上	職 員	100	A 91.3	
			児 童	91.9		
			保護者	82.0		
	3	家庭学習	職 員	100	B 89.6	
			児 童	90.7		
			保護者	78.1		
	4	読書活動	職 員	90.0	B 80.4	
			児 童	87.2		
			保護者	64.1		
個性を伸ばし自己教育力を高める教育	5	あいさつ	職 員	90.0	B 89.4	学校内では、きちんと挨拶をしたり、目標を持って活動したりする児童が多い反面、保護者の肯定率がやや低くなっている。学校での取組や児童の様子が十分に伝わっていないことも考えられるので、学校便りや学級通信等で児童の様子を発信したり、学級PTAで学校の様子を共有したりしながら、学校と家庭が連携し、「気づき・考え・実行する」児童の育成を図っていききたい。 「個人の尊重」や「教育相談」については、今後も個に応じた指導や声掛けを大切にしながら、保護者との情報共有を密にすることで、子供の個性を伸ばしていきたい。
			児 童	94.2		
			保護者	84.1		
	6	目的意識	職 員	100	A 91.0	
			児 童	95.3		
			保護者	77.8		
	7	個人の尊重	職 員	100	A 96.1	
			児 童	96.5		
			保護者	91.7		
	8	教育相談	職 員	100	A 96.8	
			児 童	98.8		
			保護者	91.7		
豊かな感性とたくましく生きる力	9	思いやり・生命尊重	職 員	100	A 97.6	「まごころいっぱい しあわせいっぱい」を重視した豊かな体験活動や、学校と家庭が連携した生活習慣の指導・改善の成果が、「思いやりや生命尊重」「生活習慣」の高評価に現れている。 放課後の水泳練習や夏休みの水泳教室、PTAプール開放など、家庭と連携して体力向上に努めたが、「自分の命を守る力」や「体力づくり」に対する保護者の肯定率は、やや低い。背景には、ゲーム・SNS等の使用時間の増加や運動習慣の二極化があると考える。今後も家庭との連携を強化し、親子で考える防災対策や運動メニューづくりなど、具体的な実践を進めていきたい。
			児 童	97.7		
			保護者	95.2		
	10	生活習慣	職 員	100	A 95.6	
			児 童	96.5		
			保護者	90.3		
	11	自分の命を守る力	職 員	100	A 94.9	
			児 童	97.7		
			保護者	87.1		
	12	体力づくり	職 員	100	A 92.7	
			児 童	93.0		
			保護者	85.2		

家庭・地域との連携・協力	13	家庭・地域との連携	職 員	100	A 98.5	PTA活動や緑の少年団活動など、学校、家庭、地域が一体となった活動が推進されている。 安全で信頼される学校づくりのため、ホームページや「すぐる」での効果的な情報提供ができた。今後は、学級通信をタイムリーに発行し、学級での様子を伝えていく。
			児 童			
			保護者	96.9		
	14	家庭・地域への情報発信	職 員	90.0	A 93.4	
			児 童			
			保護者	96.8		
教職員の専門性と人間性	15	職責と心構え	職 員	100	A 100.0	全教職員が職責を意識し、服務規律を厳守している。 スクールサポートスタッフの配置で個人負担は軽減されたものの、業務の効率化・簡素化への意識はまだ低い。今後は自己研修の機会を増やし、ワーク・ライフ・バランスを意識した働き方を進めていく。
			児 童			
			保護者			
	16	業務改善	職 員	90.0	A 90.0	
			児 童			
			保護者			

肯定率は、回答でA（よく当てはまる）又はB（やや当てはまる）を選んだ割合です。肯定率の平均が90%以上を評定A、80%台を評定B、70%台を評定C、それ以下を評定Dで評価しています。

【保護者からの御意見と対応等】 ○本校の取組でよい点 ●改善してほしい点 ◎要望事項 ※対応等	
○	先生方がいつも子供の話を親身になって聞いてくださるので、安心して相談できる。一人一人に寄り添い、担任の先生だけでなく、多くの先生方が子供たちに関わって対応されていると感じる。
○	地域の方々と関わる行事や体験活動が多く、子供たちが地域の良さを感じている。田植え体験や緑の少年団活動など、保護者も一緒に参加できる機会が多い。学校と放課後子ども教室が連携して、子供たちを見守ってくださるのが、大変ありがたい。
○	児童会が中心となって企画する「ラッキータイム」など、全校児童が交流できる機会が多く、子供たちは、学年の枠を超えてのびのびと成長している。上級生が下級生を思いやる姿も見られ、毎日楽しく学校生活を送ることができていることに感謝している。
○	学校が読書活動に力を入れているおかげで、子供たちが自ら本を読む習慣が身に付いている。スマホやゲームが普及する中、大変ありがたい取組だと思う。
○	学校のホームページがこまめに更新され、その日のうちに学校での様子が詳しく分かるので、とても楽しみにしている。子どもたちの学校生活を詳しく知ることができ、ありがたい。 そのほか、「愛媛新聞への俳句投稿が自信になった。」「授業が分かりやすい。」「体力づくりに力を入れている。」「まごころカードの取組がよい。」「まごころ最高」という御意見をいただきました。
●	宿題が毎日、自主学習ノート・音読・漢字スキルなので、計算や漢字のプリントなど、問題数をこなせるような宿題も出してほしい。（特に算数科の学力定着のための宿題が必要）
※	児童の学力定着を図るため、個に応じた内容の計算・漢字プリントを宿題に組み込んでいくことを学級担任で確認しました。また、自主学習ノートの具体的な活用方法を提示したり、家庭学習のヒントを保護者と共有したりするなど、多様な方法で児童の学習意欲と学力向上を支援していきます。
●	欠席児童に対して、補習のような個別の学習支援は行われているのか。
※	欠席した日数や授業の進捗状況に応じて、学習の遅れがないよう、学級担任が個別にサポートしています。児童によっては、放課後の個別指導や家庭学習（宿題）等で対応する場合があります。
●	友達同士でトラブルが発生した時は、双方から丁寧に話を聞き、状況をきちんと把握して解決に導いてほしい。また、保護者への早めの連絡をお願いしたい。
※	友達とのトラブルについては、双方から丁寧に聞き取りを行った上で、よりよい解決策を考え、対応しています。些細なもので学校で解決済みであっても、状況によっては、保護者へ連絡を入れることを全職員で確認しました。学校と家庭で情報を共有しながら丁寧な対応を心掛けています。
◎	校庭にある遊具が少ないので、子供たちが楽しく遊べるよう、もう少し増やしてほしい。
※	安全点検で指摘のあった雲梯部分を撤去する工事が夏休み中にあり、ジャングルジムと滑り台が、2学期から使用できるようになりました。
◎	児童の荷物軽減のため、ランドセルに代わるリュック型スクールバックの使用を進めてほしい。また、使わなくなった学用品を譲渡できる場を設けてほしい。
※	10/2の就学時健康診断の際に、通学カバンは、ランドセルに統一していないことを伝えました。 また、使わなくなった学用品のリユース活動については、P T A運営委員会でも取り上げ、検討していきます。
◎	2学期は暑い中での運動会練習や陸上練習があることから、こまめな水分補給や声掛けをお願いしたい。
※	熱中症予防対策として、こまめな水分補給、練習前後の健康観察、途中での休憩や場所の工夫を徹底し、安全に活動できるよう努めています。
◎	走る練習だけでも経験になるので、2年生から陸上練習に参加できないか。
※	安全面や運動量を考慮して3年生以上で行いました。御理解ください。 以上、たくさんの御意見ありがとうございました。今後も気になる点がございましたら、その都度、学校までお知らせください。